「野球教室」

富山県中学硬式野球協会加盟クラブの選手を対象に、炎天下の中「野球教室」を
開催いたしました。内容は次の通りです。

日時：令和５年８月９日（水）13時15分～15時40分　（選手は12時に集合し、事前にアップ）
場所：高岡西部総合公園野球場（ボールパーク高岡）
講師：富山ＧＲＮサンダーバーズ　永森社長および選手
参加選手：30人（黒部、高岡、氷見、おやべの４クラブより参加）
※平日開催のため、選手の送迎問題により参加者は少数

一塁側ベンチにて
練習開始を待つ選手

開会のあいさつ

富山ＧＲＮサンダーバーズ　永森社長により、
野球教室開会のごあいさつ（激励）。

講師
サンダーバーズの選手の
みなさん
社長のあいさつ中には、
緊張感が！？

自分の希望するポジション（投手・捕手・内野手・外野手）でグループ分けし
指導いただきました。

全員が、打席に立ち指導うけました。

当協会の森田会長より、閉会あいさつ
「今後の大会で指導を受けた成果を発揮して
くれることを期待しています。」

最後に高岡クラブの津嶋君より謝辞を述べ
閉会。

8/10北日本新聞記事

硬式野球の基礎伝授

雷鳥軍団選手 中学3年30人に

一流講師に学び技磨く

プロ野球・日本海リーグの富山GRNサンダーバーズの選手が講師を務める野球教室が9日、高岡市の高岡西部総合公園野球場であり、部活動を引退した中学3年生が硬式の基礎技術を学んだ。

軟式球を使う中学野球から硬式球の高校野球へと生徒がスムーズに移行できるよう、県中学硬式野球協会が開いた。

部活動引退後に硬式チームで活動する約30人が参加。富山の松尚輝投手や源氏内野手など6選手がポジションごとに分かれ、それぞれ投球フォームやスイングのポイントを伝えた。

おやべスポーツクラブの長岡晃平さん(15)は「カーブの投げ方を分かりやすく教えてもらった。試合で使いたい」と話した。

源氏選手（手前右）から打撃のこつを教わる生徒＝高岡西部総合公園野球場

8/10富山新聞記事

県中学硬式野球協会の野球教室は9日、高岡市の高岡西部総合公園野球場で行われた。今夏に軟式野球部を引退した県内の中学3年生約30人が、富山GRNサンダーバーズの選手から、硬式球でプレーするこつなどを教わった。

サンダバ選手が指導

高校で野球を続ける生徒が参加した。サンダーバーズの選手6人とスタッフ2人が講師を務め、投手、捕手、内野手、外野手に分かれて、打撃や守備、投球について助言した。

中3生、硬式のこつ学ぶ

高岡で野球教室

氷見市西條中の滋野颯太さん(14)は「教わった投げ方を試したら、高めに強いボールが投げられるようになった」と声を弾ませた。閉会式でサンダーバーズの永森茂社長があいさつした。

サンダーバーズの選手から投球のこつを学ぶ中学生＝高岡市の高岡西部総合公園野球場